平成 28 年度看護研究の取り組み

【看護研究】

１．思春期病棟における親の自己変容へのかかわりについて考える

１Ｃ病棟　渡邉圭子　他

２．長期入院患者の退院支援への取り組み

１Ｂ病棟　斎藤淳子

３．思春期精神疾患患者への家族支援に関する研究
～思春期家族教室の持ち方～

外来　　鈴木美保

４．退院を遅らせている要因についての調査

２Ｃ病棟　駒井千里　他

５．ARP 評価と今後の取り組み

１Ｃ病棟　河西　敏也他

６．多飲症心理教育に対するスタッフの意識向上に向けての取り組み

１Ｂ病棟　平出加代子

【症例検討】

１．発達障害患者の自律に向けての看護介入について考える
～廟力を繰り返す患者にトークンエコノミー法を実践して～

1Ａ病棟　樋口陽子

２．自殺企図した広汎性発達障害のある患者への関わりを振り返る

1Ａ病棟　原洋一

３．精神科救急入院料病棟の退院支援における看護師の役割を明らかにする
～患者・家族の意思決定の支援を通して～

1Ａ病棟　植松啓子

４．ストレングスモデルから学んだ夢の実現に向けた関わり

～日常生活が困難になった統合失調症の事例より～

１Ｃ病棟　五味ゆかり

５．統合失調症患者の自立した生活へ向けた関わり
～患者を支える高齢の家族の思い～

２Ｃ病棟　渡邉祐子

６．自己決定が困難な産褥精神病患者との治療的人間関係を振り返る
～患者と看護師の相互関係について～

２Ｃ病棟　樋川朋子